

主要な施策

参考：施策の成功イメージ

あ 生涯学習センター等の学習環境の充実

- 市民の誰もが、いつでも手軽に学習できる環境を整えるため、施設の運営・管理を充実し、市民の求める学習環境を提供する
- 具体的には、老朽化した設備の更新や、学習センターにおけるフリーWi-Fiの整備等を進める

- 市民の誰もがいつでも手軽に、安心して学習できる環境が整備されている状態

い 博物館の運営・整備充実・機能強化

詳細33ページ

- 鎌倉国宝館・鎌倉歴史文化交流館について、それぞれ100周年・10周年の機を捉えながら、設備の整備充実を図るとともに、着実な運営を図る
- 歴史や文化を次世代に継承するため、「デジタルミュージアム」「フィールドミュージアム」の視点により博物館機能を強化する

- 「鎌倉市にふさわしい博物館基本計画」を通じて、鎌倉の歴史と文化を1000年後に伝えるための体制が整えられている状態

う 図書館サービスの維持・向上

詳細34ページ

- 「鎌倉市図書館ビジョン」の実現に向けて、環境整備と人材の育成、知識や情報のハブとなる資料の充実を推進するとともに、読書バリアフリーを含めた図書館サービスの向上を図る
- 新施設における図書館の整備を見据えながらこれからの図書館を考えると同時に、現在の各図書館についても市民が安全で快適に過ごせるよう設備を充実させる

- 誰もが利用しやすく、全市民の知識/情報のハブとなる「つながる・ひろがる・100年図書館」が実現されている状態

え こどもの読書環境の整備

詳細35ページ

- こどもたちの豊かな読書環境を、家庭・地域、学校、図書館・行政が連携して整備する
- こどもの居場所としての図書館のサービスや施設整備の検討を進める

- 豊かな読書環境のためのヒト・モノが整備され、こどもたちがいつでもどこでも楽しく本とつながることで、自ら学ぶこと、考えることを楽しんでいる状態

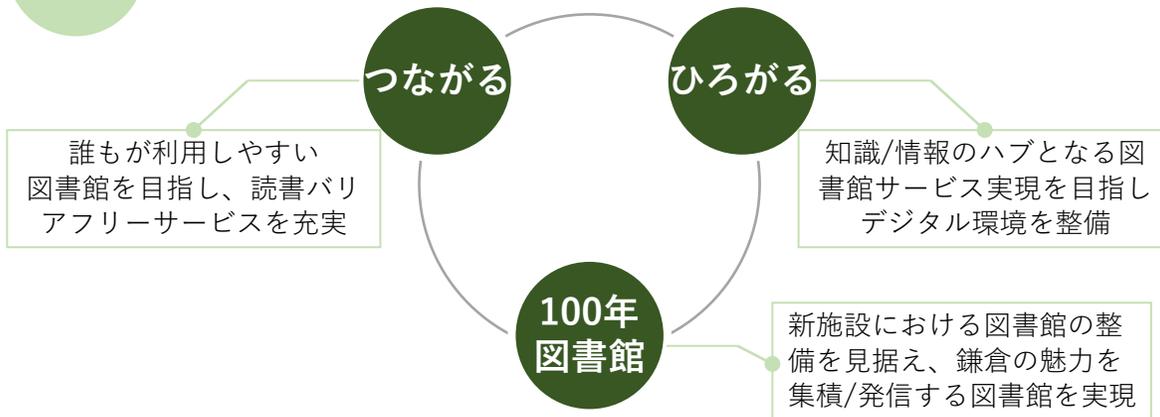
第5次鎌倉市図書館サービス計画 <2026年4月~2030年3月>

背景

- ・ 鎌倉市図書館では、目指すべき図書館の姿として鎌倉市図書館ビジョン「つながる・ひろがる・100年図書館」を定め、その実現に向け図書館サービス計画を策定。第4次鎌倉市図書館サービス計画が令和7年度（2025年度）で満了
- ・ 読書バリアフリーサービス、司書職員の継続的な採用、デジタル環境の整備については課題を抱えており、第5次計画において重点的に取り組むべき
- ・ 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（通称:読書バリアフリー法）の制定により、図書館でも一層の読書バリアフリーサービスの充実*1が求められている

目的

つながる・ひろがる・100年図書館の実現！



*1: 第5次計画では、鎌倉市の読書バリアフリー計画を内包する。

実施内容

□ 3つの取組を中心に推進する

1

読書バリアフリーサービスの充実

- ・ 誰もが利用しやすいバリアフリー資料を充実させる
- ・ 障害のある方それぞれのニーズに合わせたサービスを検討し拡充する
- ・ 図書館を利用しづらい環境にある利用者へのサービスのPRを強化する
- ・ 読書バリアフリーサービスに精通した人材を育成する

2

知識や情報のハブとなるサービスの拡充

- ・ 生涯学習や日々の暮らしを支援するため、市民のニーズに合った蔵書を充実させる
- ・ 電子書籍・Wi-Fiの導入、地域資料のデジタルアーカイブ等、デジタル環境の整備により利便性の向上を図る

3

鎌倉の魅力を集積し発信する図書館の実現

- ・ 鎌倉の地域資料を収集・保存し、デジタル資料の公開やイベントにより情報を発信する
- ・ 誰もが安心して利用できるよう施設環境を整備する
- ・ 司書職の継続的な採用により技術の伝承を図り、人と情報を結ぶ人材を長期的に育成をする
- ・ 新施設における図書館の機能を検討し、関係部署と連携しながら、その実現を目指す
- ・ 複合施設化や利用者の利便性向上に向けたICタグを導入する